

保護者の皆様へ

この度の感染症による臨時休校により、ご家庭で学習を見て頂き、ありがとうございます。お子さんがプリントやドリルを中心に家庭学習をする中で、難しい所、つまずいてしまう所があるかと思えます。そんな時は、まずはお子さんがどのように解決をしようとするかを温かく見守ってあげてください。本やインターネットで調べることもあるでしょうし、保護者の皆様に質問することもあると思います。そうやって、試行錯誤して答えを見つけていく過程に大きな学びがあります。その学びの過程の中で、今回お配りした「家庭学習の手引き」が助けになればと思います。もちろん、ここに記した以外の方法で学習を進めていってもかまいません。いろいろな方法を試してみて、自分にとってよりよい学び方を見つけてほしいと思います。

*お子さんのことや家庭学習についてご質問等ありましたら、学校へご連絡ください。

*以下にメール配信の返信であった保護者の皆様からのご質問と回答を一部載せております。ご参考ください。

家庭学習 Q & A

Q. 自主学習の課題を決めるのが難しいです。

A. 学習の過程の中で、「自分が解決したい課題を決める」ということも大切な学びの力です(課題発見力)。簡単なものでも構いませんので、まずは「自分で課題を決めて、解決に向けて取り組む」という経験を自習学習を通して積み上げていってください。はじめは、例を参考にさせて頂いてもかまいません。慣れていってから、自分なりに変えていってもらえたらと思います。

(例)

○授業で学習した復習「～を間違えずにできるようになるう」

「～の答えの求め方をたしかめよう」

○次の授業の予習「～の答えの求め方を考えよう」

「どうやったら～ができるようになるだろう」

○学習したことや経験したことから見つけた不思議

「どうして～は…なんだろう」

「どうやったら～になるのだろう」 など

Q. 自主学習の一マス一文字が、難しいです。

A. 子ども達の状況に応じて変えて頂いてけっこうです。3年生以上は授業で5mm方眼ノートを主に使うようになりますので、その大きさに徐々に慣れていただけたらと思います。たまにノートを埋めるためだけに文字を大きく書いてあるものがあります。それでは、ノートがもったいないですし、学習の目的からずれてしまいます。自主学習が自己の学びになるように、また、上手なノートまとめができるように、進めていってほしいです。

Q. 資料集や辞書などで調べるのが難しいです。

A. 資料集や辞書ははじめて使うお子さんも多く、はじめは難しく、時間もかかると思えます。できれば何度も使って頂く中で、使い方に慣れて頂けたらと思います。資料集や辞書はあくまで調べる道具です。道具を上手に使う力を身につけるために、まず慣れる、次に正確に使うことを目標にして頂けたらと思います。

Q. 「分からないこと」が分かりません。

A. 分からないことを具体的に言葉で表現することは、すごく難しいことだと思います。分からないことの多くが、ご質問のように「分からないこと」が分からない状態でなんとなく終わっていることも考えられます。言葉にできない思いに気づいてご質問くださりありがとうございます。その場合、解決の方法として、以下の方法が挙げられます。方法として取り組みやすいものを選んでみてください。

①学校へのお電話で保護者の方から、またはお子さん本人に分かる範囲で話してもらう。

②中・高学年は「先生にお手紙を送ろう」の課題とともに「困ったカード」を書いて封筒に一緒に入れて郵送して頂く。(分かる範囲で書いてもらえたら、後日お電話や質問相談日に詳しく説明できるようにしておきます。)

③学校が設定した質問相談日に来て頂き、学習のつまずきを確かめながら、一緒に取り組む。

Q. 家だと集中力がもちません。

Q. 家でのおおよその学習時間を教えてほしいです。現在、ある程度の時間を設定しているものの、勉強する時間がまばらになり遊ぶことも多くなりがちになっているため、学習不足が不安です。

A. 効果的な学習のために考えるポイントは「質」と「量」です。

「量」としては取り組む課題の量や学習時間があります。学習時間の目安としては、低学年は1日3時間(45分授業×4時間分)、中学年は1日3時間45分(45分授業×5時間分)、高学年は4時間30分(45分授業×6時間分)というものが具体的な時間として挙げられます。学校が再開した場合、段階的にはなりますが、最終的にはこれらの時間分学校で学習するようになります。それを考えた上でも、同程度の学習をする習慣をつけておくことは大切です。

もう一つのポイントとして「質」があります。同じ時間学習していても、集中して取り組んだものと、ただこなすだけになったものではその効果が変わってきます。大切なのは、その学習の時間、どれだけ学習する本人が、「課題意識をもって取り組めたか」です。「課題意識」といっても、年れいによってさまざまだと思います。「今日は、〇〇を覚える」「苦手な〇〇をできるようにする」から「どうして～なのだろう」といった疑問を追求していくものなどです。お子さんの意欲がもてる課題からでけっこうですので、自分なりの『今日の課題』をもって学習に取り組んでもらえたらと思います。そのために、「生活リズムシート」に中・高学年は、「学習の計画」やふり返りとして「次ががんばりたいこと」を書く欄を設けています。低学年は計画に「がんばること」を設けています。ご活用ください。

また、子どもたちがひとつのことに集中できる時間は15分～20分と言われています。(※お子さんによってちがいはあります)学校の授業でも、45分の中で、お話を聞いたり、話したり、書いたり、読んだりと様々な活動をおりませながら学んでいます。集中が続かない場合、15分～20分をひと区切りに、学習内容を変えてみることもよいかと思えます。じっと書いたり、読んだりした後は、少し活動があるものをしてみたり、学習の内容によって、部屋や音楽を変えてみたり、気分転換も質を高める大切な要素です。休憩も入れた学習計画をお子さんといっしょに立ててみてください。

Q. 答え合わせを子どもにさせてもよいですか。

A. 取り組んだ学習のふりかえりがすぐできるようにドリルやプリントの答えも一緒に渡しています。とくに3年生以上は、自分で答え合わせをして自分で学びをふり返られる力をつけてほしいと思います。(もちろん、お子さんの状況に応じて、保護者の方にして頂いてもかまいません。)お子さんに答えを渡して、学習に取り組む前に答えを見てしまうことが心配されるかもしれません。しかし、学びは本来自分のためにするものです。答えを見てしまうと自分自身の力にならない。その意図をお子さんに話して頂けたらと思います。

Q. 学校からの課題は終わったので、新しいこと(予習など)をどんどん進めてもよいですか。課題で出ている範囲を復習し続けるのがよいのか、先に進んでもよいのか迷っています。

A. お子さんの学びのペースによりませんが、新しいことに意欲が向いていたり、学校からの課題の学習が十分できていたりするのであれば予習で先に進んでいただけてけっこうです。

一方で、漢字や計算など何度も繰り返し行うことで力がつくものもあります。漢字ノートを使って漢字練習を行ったり、算数ノートを使って教科書の練習問題や計算ドリルの問題をもう一度解いてみたりすることもよいと思います。また、国語ノートに教科書の文章を視写する(書き写す)と段落や会話文を気をつけながら文章を書く力にもつながります。

Q. 学校から出された課題が終わりそうにありません。

A. 今は、緊急を要する休校ですので、子ども達の状況などで課題が終わらないことも考えられます。心も体も元気に過ごすことが一番ですので、無理をして終わらせなくてもよいです。学習の進度は人それぞれですので、自分に合った学習方法、1日の学習量を見つけていってください。(徐々に量を増やしていけるとよいと思います)

*ここに書かせていただいたのは、あくまで答えのひとつです。お子さん一人ひとりの学びに合ったものになるよう、参考にしてください。

*多数ご質問があったものでも、現状ですぐに答えが出せないものもありました。検討してまたお知らせしたいと思います。ご了承ください。

*今後、新たにご質問等で追記したものは加茂小HPにアップしていきます。